

近角常觀 ちかくのつねみ 僧侶。明治四年四月～二十四日近江國生れ、昭和十
 六年十一月二日歿（一八七一～一九四一）。第一高等學校を經て、明治二十一
 年東京帝國大學文科大學哲學科卒。三十二年歐洲宗教事情視察、二十
 五年求道學會を設立し、機關誌『求道』發行。親鸞信仰の宣傳教化に
 努めた。

著書『信仰問題』（明治二十七年二月十五日文明堂）、『宗祖觀』（合
 著、明治四十四年四月）二十五日京都・小笠原秀實編輯）、『佛敎の新
 研究』（合著・上宮教會上河瀬秀治編、大正七年十一月）二十四日大阪
 屋敷書店）、『人生と信仰』（第九版・大正十一年八月十五日森江英
 一刊。東帛二郎施本）、『求道と建現』（大正十二年八月八日求道發
 行所『求道講話』）、『慈愛と眞實』（昭和二年五月）二十日求道發行
 所）、『慈光録』（昭和五十年八月十日京都・文明堂）等。

